



開館カレンダーはこちら

明日、世界が消える前に

著：霜月 りつ

あの世とこの世の狭間「死整序」。そこは、天国のひとつ前。迷い込んできた人たちに与えられる試練を描く最高に泣けるピュアストーリー。



問 簡野道明記念吉田町図書館
☎52-3169

のりものレインボーずかん

写：やまなか のりえ



レンタルフレンド

著：青木 祐子

世の中にはお金を払っても「友達」をレンタルしたい人がいる。プロの「フレンド要員」が知る彼らの秘密とは？



問 中央図書館 津島分館
☎32-2725

あかいくるま、あおい電車、きいろのはたらくるま、みどりのバス、ピンクの飛行機…。190種以上ののりものを色別に紹介します。

問 中央図書館 (パフィオうわじま内)
☎22-1065

二名短歌会

加里場俳句会

命一つ身にとどまりて動乱の遠き昭和に置きし青春 金谷 幸夫
山裾をうす紫に染め上げて山藤の花山をいりどる 善家 聖子
生かされて励む九十五歳きびしくも畑には青々ケールの育つ 善家キクエ
駄々こねる二歳の孫は急成長泣いて笑って好きすきすきと 安波 五月
前山の影を写して早苗田の日毎色増すみどり清けし 高山 幸子

国引きの出雲神話や雲の峰 岡田 幸子
餌かかふ蟻にもありし力齧 さらら陽子
サイダーは空の青さの味がする 田中 秋櫻
魚焼く火種となりし杉落葉 坂中 昌子
テールブルのグラスの水滴夏の空 岡 智香
ワアワアと行水する子青い空 平山 千代
幼な子も両手を伸ばす盆踊 大森ちひろ
天道虫花から鼻へこちよこちよと 金子ヒデキ
チクリ刺しよろよろ逃げる蚊の重し 坂本その子
翻り城下行き交う夏つばめ 田中 成子
一点に落ちる水先苔の花 田村喜美代
オンライン帰省に混じる祖父の声 中川 寛
油照り木陰にごろつと寝転びて 浜田 まな
長雨に蛙の鳴きし昭和かな 尾下キクミ
苔の花あなたのとりのキューピッド 吉川 優子
船底はペンキ塗りたて油照り 泉 くらら
出目金の左右の眼見比べる 坂中 勲
甘口のワインひとくち夜半の夏 佐野 幸子
避難所へ浜登顔の小径かな 辻 渚

文芸のひろば

